社会福祉法人
大念仏寺
社会事業団

★ボ・ドーム大念仏
★いちょう保育園
★大念仏乳児院
★いちょうベビーセンター
★ひらのドリーム園

季刊誌　つぼみ
第22号

第22号
平成26(2014)年４月１日
発行所　社会福祉法人
大念仏寺社会事業団
発行人　理事長　杉田善久
編集協力
藤森雄介　淑徳大学
国際コミュニケーション学部
渡邊義昭　淑徳大学　総合福祉学部

平成26年度が始まりました。
今年度もどうぞよろしくお願い致します。
職員一同

この人に聞きたい！

vol.7

保育園で平成25年度に保護者会の役員をされていた5名の方（写真右から冨永薫さん・山本昌代さん・玉木尚美さん・秋吉直子さん・田端爾子さん）にお話を伺いました。

Q1　いちょう保育園について

いちょう保育園では様々なメニューで保育が充実しており、体も精神も目を見張る成長があり通えてよかったと思っています。子どもの事でイライラしても先生の笑顔でホッとしたり、一緒に悩んで下さったりとすごく心強い存在でした。

Q2　いちょうベビーセンター・保育園を選んだ理由。

自宅や実家の近くだったのと、園の雰囲気が温かくすごく清潔、給食が手作りで細かな気配りを感じたので選びました。

Q3　保育園行事の中で一番印象に残っている事は何ですか？

運動会です。何をするにも怖がっていたのに、みんなと一緒に力を合わせて立派に組み立て体操をやりとげました。鼓隊でもしっかりと前を向いて力強く演奏し、自信に満ちた顔で輝いていました。

Q4　保護者会の活動について

責任の大きさに緊張もしましたが皆で協力しあい和気あいあいと活動する事で出会いもあり、先生方といつもと違ったお話しもできました。そして何より子供達の近くで行事に参加する姿を見る事ができる貴重な体験でした。

Q5　子育て（育児）は楽しんでいますか？

大変な事もあるけれど、それ以上に子どもの成長は嬉しくかわいいので楽しい毎日を過ごせています。

Q6　仕事と子育ての両立のコツは何ですか？

子どもにも仕事をしている事を理解してもらい、手を抜ける事は楽をしてがんばりすぎない事です。

Q7　先輩ママさんとして、今初めての子育てをされているお母さん方に一言!!

ママは仕事・家庭とやる事がたくさんありますが、がんばりすぎないで下さい。きっとすべてが何年後かにはいい思い出に変わっていると思います。

色々なお話をありがとうございました。

いちょう保育園

白いプレゼント・桃組

大阪にも雪が降りました。朝一番に雪あそびに出発した桃組の子どもたち。「つめた～い」と言いながら雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりと思わぬプレゼントに大喜びでした。

絵の具あそび・梅組

赤、青、黄…色々な絵の具を使って自由にお絵描きしました。「先生、大きい海やで～」「宇宙みたいやろ!!」楽しい声があちらこちらで聞かれました。

食のお勉強

朝ごはん～！

栄養士による食育講座にて、「食べると良いことだらけ」のお話しに毎朝食べることを決意していました。

王手！・松組

一人しかできなかった本将棋もあっという間にクラス全体に広まって毎日時間さえあれば楽しんでいました。将棋大会で負けた悔しさをバネにさらに力をつけた子ども達でした。

ちょっぴり役者気分で・竹組

♪さぁ行こう。ブレーメン。足どりも軽く。♪歌声も元気な子ども達。自分達で台詞や動きを考えて頑張り、お兄さん、お姉さんになった姿をみせてくれました。

お別れ会

年長組が卒園する前に全クラス縦割のグループに分かれて、ゲームを楽しみました。
エイエイオー!!
1位目指して頑張りました。

～　もくじ　～

1面　この人に聞きたい！・いちょう保育園
2面　大念仏乳児院・いちょうベビーセンター
3面　ひらのドリーム園・ボ・ドーム大念仏
4面　ご寄附・ご寄贈者・事業団
つぼみ通信（ひらのドリーム園）
編集委員会手帳・ドレミ広場

ご寄附・ご寄贈者

みなさまのご厚情心より御礼申し上げます
平成25年12月から平成26年３月まで
順不同、敬称を略させていただきました

【大念仏寺社会事業団】
金　300万円
柿　4箱
金　5,000円
スウィーティー・苺2箱・
苺50パック・ポンカン1箱・ミカン1箱
ミカン5箱
バナナ1箱
クリスマスケーキ・菓子詰め合わせ4箱
卵360個
米180kg・餅2箱・小豆・菓子3袋
災害備蓄用ビスケット
金　50万円

理事長　杉田善久
宝塚ラベル
東住吉俳句会
松本春昭

大阪本場青果卸売協同組合
京都府木津川市くだもの広場
平池正則
吉田行男
興善寺　田中瑞修
石井良和
前田禮子

【ボ・ドーム】
将棋セット　3
靴下　1箱
金　6万円
衣類　2箱
インスタント食品・お菓子・飲料・(株)モバイルフィット
調味料他
ファイル(キング・クリア)
児童書　3箱
図書カード　13,000円分

大阪生命保険協会
大阪レッグニット卸売協同組合
平野警察署員一同
田村加奈
大阪市商店会総連盟
小田八重子
大阪府社会福祉協議会

【大念仏乳児院】
金　10万円
玩具・DVD　13,000円
金　2万円
金　3万円
金　3万円
紙オムツ52ケース30万円分
金　24万円
書籍　17冊
図書カード　5,000円分
エルゴベビー抱っこひも
玩具10万円分

JA大阪女性会マザーズハンド
(株)万代
毎日新聞社社会部
藤田禮子
村上富造
(株)美鈴社
(株)ジェイ・ストーム
(株)大坂屋内OBOP事務局
(株)ダッドウェイ
コンビ(株)

【いちょう保育園・ベビーセンター・ドリーム園】
大人用運動靴100足　匿名
【ひらのドリーム園】
金　3万円　高階三樹雄

法人内研修会実施 平成25年度

年	月日	研修内容	講師名
H25	4月18日	社会人としてのマナー	川崎　一紀氏
H25	6月18日	関わりの難しい利用者対応について	津崎　哲朗氏
H25	7月24日	津崎先生の研修を踏まえてのグループワーク	
H25	9月25日	関わりの難しい利用者対応	樋口　亜瑞佐氏
H25	11月25日	職員参加型ワークショップ	樋口　亜瑞佐氏
H26	2月24日	職員資質を高めるための各施設の取り組み	

月日	法人内研修会
4月15日～20日	新任職員研修会
11月18日～20日	施設長研修会
12月　9日～11日	主任研修会
1月27日～29日	5年目・10年目職員研修会

救命講習実施 平成25年度

12月　3日　12月26日
12月16日
地下一階研修ホールで救命講習を実施致しました。

ドレミ

今年の冬は大阪でも大雪が降ったり、本当に厳しい寒さが続きましたが、ドレミのお友達は元気いっぱいで遊びに来てくれました。

クリスマス会では保育士のベープサートを観たり、親子でゲームをしたりと楽しく過ごしました。もちろんサンタさんも来てくれて、プレゼントをもらった子ども達は皆ニコニコ笑顔になりました！節分の豆まきでは鬼の登場に泣き出してしまう子もいましたが、鬼なんてへっちゃら～とばかりに「鬼は外～」と勢いよく豆を投げるお友達もいて無事に鬼退治をすることができました。

一般開放の日もお母さんとお子様がオモチャや絵本で楽しく遊んでいます。初めてのお友達同士もいつのまにか仲良くなり、お母さん同士も子育て情報を交換したりとドレミの輪はどんどん広がっているようです。今年度も楽しい行事をたくさん用意して待っていますので皆さん遊びに来て下さいね。

つぼみ通信

夜間保育園ひらのドリーム園は、今春5回目の卒園式を行い、卒園児2名を送り出す事ができました。この卒園児は、0才児の時からひらのドリーム園で生活してきた子どもたちでした。定員30名の夜間保育園。0・・・2才児は、待機児解消のニーズもあり夜間保育を必要としない家庭のお子さんもお預かりする事もあるのですが、他園の定員の枠が広がる幼児クラスになると、転園される方が増え、園児が減ります。特に幼児グループでは、集団での遊びの経験が大変重要になってくるのですが、子供数が減ってしまうドリーム園だけでは十分に経験してもらう事ができませんでした。

前年度から毎月一回いちょう保育園の合同保育の日に「いっしょにあそぼう」と声をかけていただくようになりました。初めは、ドリーム園のオレンジ色の帽子の子どもばかりかたまって遊んでいたのですが、回を重ねるうちにオレンジ色の帽子と、青・緑・赤・桃色の帽子の子どもが混ざり合って遊ぶ姿を見る事が出来るようになりました。でも、まだまだ引っ込み思案のドリーム園の子ども達。ハロウィンや松組の劇等、事あるごとに声をかけて頂き交流させていただきました。

3月に入り、松組が園庭遊びを始めると遠慮なく加わらせてもらい、ドリーム園の年長児と松組の子どもたちが一緒に「色鬼」をして遊ぶ姿も見られるようになりました。いちょう保育園の協力のお陰で、自信を持って園児を小学校に送り出すことができました。また、嬉しいことに、いちょうベビーセンターからもお遊びのお誘いをうけました。

これからも「こどもたちのために」という同じ目的を持って、協力し合ってゆきたいと思います。ご協力いただいたたくさんの先生方、ありがとうございました。

ひらのドリーム園　南野

お知らせ

各施設にご意見箱（きっくん）を設置しています。ぜひご活用下さい。

【お問い合わせ先】
社会福祉法人
大念仏寺社会事業団
広報編集委員会
〒547-0045
大阪市平野区平野上町1丁目7番3号
TEL　(06)6791－5410
FAX　(06)6791－7774
URL http://www.dsw.or.jp/

編集委員会手帳

平成二十五年度から編集委員をさせて頂きま、もうすぐ一年が経ちます。以前から、ベビーセンターだよりでパソコンを使用するようになり、写真やイラストの取り込み方法は知っていましたが、【季刊誌　つぼみ】を通して、ベビーセンターを知ってもらい、分かりやすいように…。と考えると難しく感じています。

発行前には、園長・主任・先輩方にアドバイスを頂いたり、一緒に相談しながら密にコミュニケーションを取り、いろいろな経験をさせて頂いています。

完成したつぼみが手元に届いた時には、嬉しさと、皆さんにどう感じて頂けるかとドキドキしています。

今年も頑張りますのでよろしくお願い致します。

ベビーセンター　U